

1. 魚介類調査結果の概要

1. 魚介類調査結果の概要

(1) 分布状況からみた河川環境の特徴 (資料 II.1.1、資料 II.1.2)

今回とりまとめを行った 61 水系 63 河川で確認された魚類は 18 目 68 科 262 種、エビ・カニ・貝類は 21 目 68 科 167 種でした。

魚類の確認種数が多かった一級河川は、九州地方の筑後川の 86 種でした。二級河川では、関東地方の一宮川の 56 種でした。

エビ・カニ・貝類の確認種数が多かった一級河川は、九州地方の筑後川の 80 種、四国地方の吉野川の 47 種、九州地方の松浦川の 42 種、関東地方の多摩川の 35 種でした。二級河川では、関東地方の小櫃川の 43 種でした。

(2) 特定種一覧 (資料 II.1.3、資料 II.1.4)

今回とりまとめを行った 63 河川で確認された特定種は、魚類では天然記念物に指定されているアユモドキやネコギギ等 46 種、エビ・カニ・貝類ではレッドリスト絶滅危惧種 II 類に指定されているカワシンジュガイ等 15 種でした。

魚類の特定種の確認種数が最も多かった河川は、九州地方の筑後川の 13 種、次いで九州地方の菊池川の 10 種でした。

エビ・カニ・貝類の特定種の確認種数が多かった河川は、九州地方の筑後川の 7 種、次いで北海道地方の天塩川、近畿地方の淀川水系野洲川、中国地方の吉井川、芦田川、四国地方の那賀川の 3 種でした。

(注) 特定種について

本資料においては、次の文献のいずれかに該当する種や亜種を特定種としました。

- ・ 「文化財保護法」の特別天然記念物および天然記念物
- ・ 「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」の国内希少野生動植物種および緊急指定種
- ・ 環境省(庁)編「レッドリスト」掲載種(1999・2000)

(3) 外来種一覧 (資料 II.1.5、資料 II.1.6)

今回とりまとめを行った 63 河川で確認された外来種は、魚類ではオオクチバス(ブラックバス)、ブルーギル、グッピー等 15 種、エビ・カニ・貝類ではスクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)、サカマキガイ、アメリカザリガニ等 11 種でした。

今回とりまとめを行った 63 河川のうち、魚類の外来種の確認種数が最も多かった河川は、中部地方の庄内川の 8 種、次いで関東地方の栗山川、北陸地方の阿賀野川、四国地方の吉野川の 6 種でしたが、20 河川では全く外来種が確認されませんでした。地方別では、北海道地方で 2 種と最も少なく、関東地方で 9 種と最も多く確認されました。

今回とりまとめを行った 63 河川のうち、エビ・カニ・貝類の外来種の確認種数が最も多かった河川は、中部地方の庄内川の 6 種、次いで関東地方の多摩川の 5 種でしたが、15 河川では全く外来種が確認されませんでした。地方別では中部地方で 7 種、関東地方、近畿地方で 6 種と多く、最も少なかったのは北海道地方の 1 種でした。

(注) 外来種の選定基準について

本資料における外来種とは、おおそ明治以降に人為的影響により侵入したと考えられる国外由来の動植物全てを指し、侵入以後に国内に定着した種であるか否かの判断は、困難な種があるため選定の際に考

慮していません。また、外来種の選定には、資料 I.6 (49～50 ページ) および 51 ページに掲載した文献と学識者による意見を参考に行っています。

(4) サケの全国的な確認状況 (資料 II.1.7 (1))

確認状況の概要は 6 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 65 ページに掲載されています。

(5) 汽水域に生息するシラウオ類、シロウオ、トビハゼ、ワラスボ類の確認された地域 (資料 II.1.7 (2)～(5))

確認状況の概要は 6 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 66～69 ページに掲載されています。

(6) ブルーギル、オオクチバス (ブラックバス)、コクチバスの確認された地域 ((資料 II.1.7 (6)～(8))

確認状況の概要は 20 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 70～72 ページに掲載されています。

(7) ヤマメとアマゴ、アブラハヤとタカハヤの確認分布状況 (資料 II.1.7 (9)～(12))

確認状況の概要は 21 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 73～76 ページに掲載されています。

(8) メダカとカダヤシの確認された地域 (資料 II.1.7 (13)、(14))

確認状況の概要は 22 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 77～78 ページに掲載されています。

(9) タイリクバラタナゴの確認された地域 (資料 II.1.7 (15))

確認状況の概要は 23 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 79 ページに掲載されています。

(10) 琵琶湖・淀川水系の魚類、北海道地方在来の魚類の確認された地域 (資料 II.1.7(16)、(17))

確認状況の概要は 24 ページに、また、これら選定種の確認位置図は 80～81 ページに掲載されています。

(11) 分析対象種の確認状況の経年比較 (資料 II.1.8)

これら選定項目の河川ごとの経年確認状況についての比較表は 82～83 ページに掲載されています。